

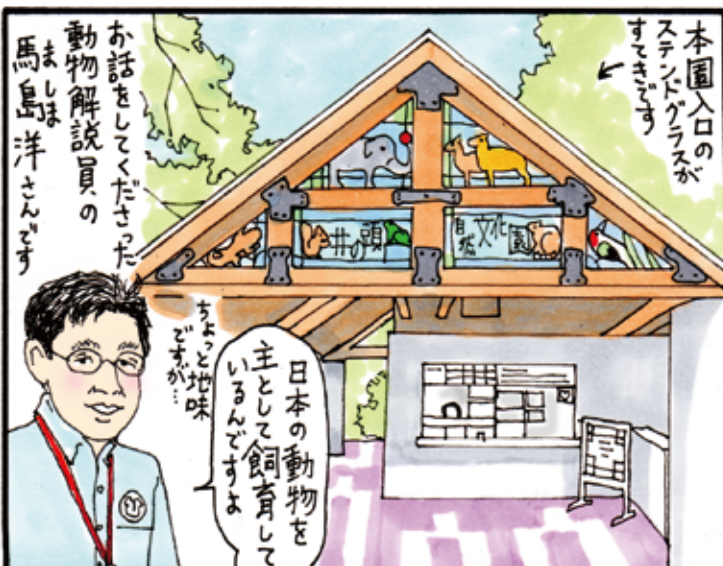
むしのスタル

⑨ 開園70周年、井の頭自然文化園

止み合サレ、結

今年5月17日、井の頭自然文化園は開園70周年を迎えました。そして園内のアジアゾウの「はな子」さんは、今年6歳、長く愛されている井の頭自然文化園職員さん飼育員さんのお話から地道な努力がうかがえましたよ。

本園入口のステンドグラスがすてきです



日本の動物を主として飼育しているんですよ

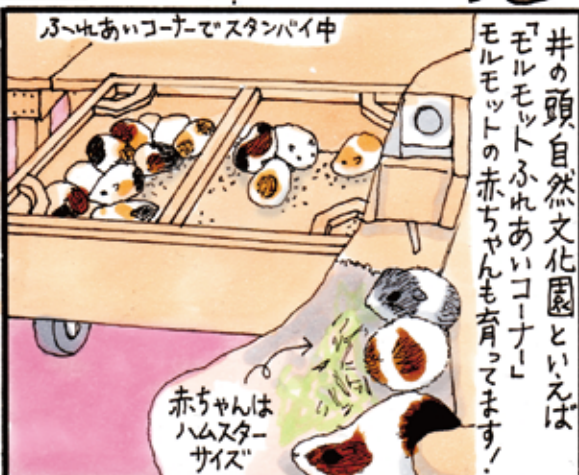
ちょっと地味ですが



動物園には絶滅から動物を守る役目があるんですよ

あとの4匹は敏系種のため非公開です

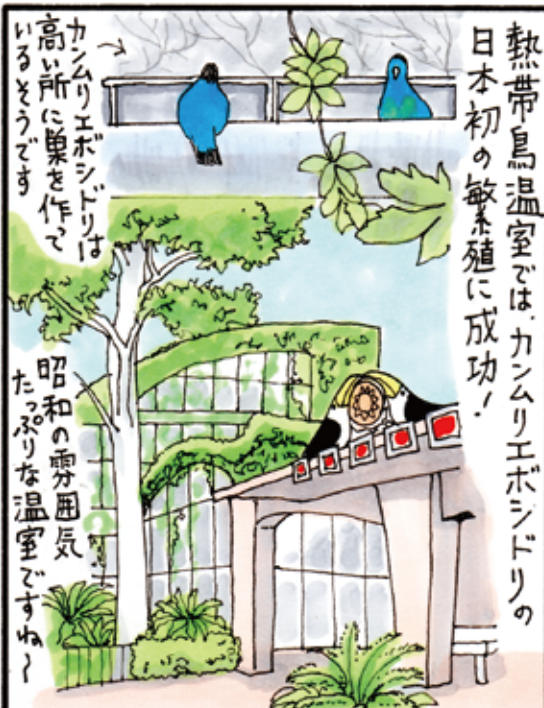
貫禄あります



ふれあいコーナーでスタンバイ中

井の頭自然文化園といえば「モルモットふれあいコーナー」モルモットの赤ちゃんも育っています

赤ちゃんはハムスターサイズ



カンムリエボシドリは高い所に巣を作ります

昭和の雰囲気、たふりな温室です

熱帯鳥温室ではカンムリエボシドリの日本初の敏系種に成功



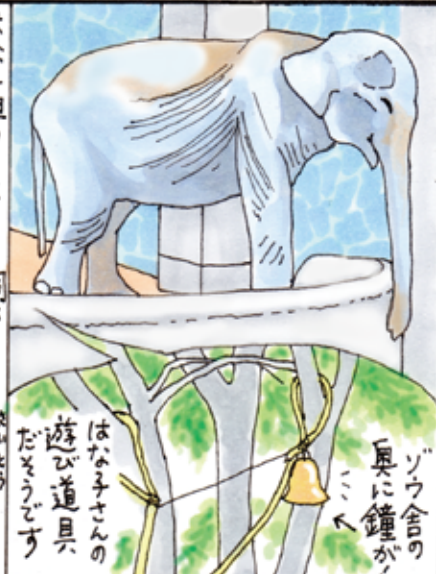
分園の水生物館でも希少な生物を増やす努力が続けられています

カイツブリの敏系種に成功、鳥だけじゃなく水槽で飼っているのが面白い

ミヤコタナゴは、二枚貝がないと産卵できないため、なんと北海道まで貝（カワシジミ）を取りに行くそうです

広い水槽の一角に

「増やす努力」の次は、「長寿を保つ努力」
はな子さんは、今年1月1日に65歳！
飼育員4名がお世話しているそうです



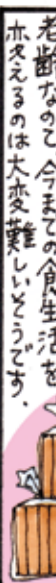
はな子担当6年目、飼育員の森岡藤美和さんにお話をうかがいました。



歯が弱くなって
青草やりんご、にんじんは
小さくカットして、バナナは
むいて与えています



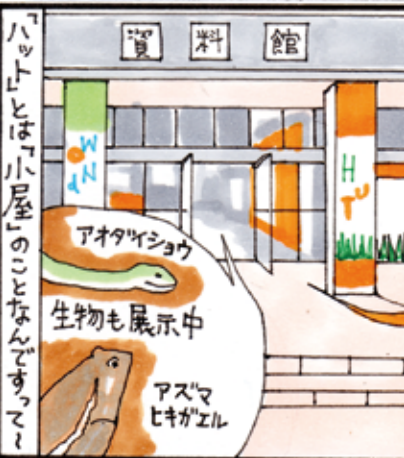
者物とか調理した
ものは食べないんだ！
老齢なので、今までの食生活を
ホッとするのは大変らしいそうです。



一方サル山では、エサを細かくする工夫
で、子や若中や弱いサルにもエサが行き
渡るようになったそうです



そんな飼育員さんや職員さんの
努力や、動物の不思議を遊びながら
体験できる「ワンダーハット展」開催中！
はな子さんの竹寺真大の（11月25日まで）
自筆ぬいぐるみ、さやれまます



なんと！この展示物の数々、職員さんたちの手作りなんです
これボクが
作りました



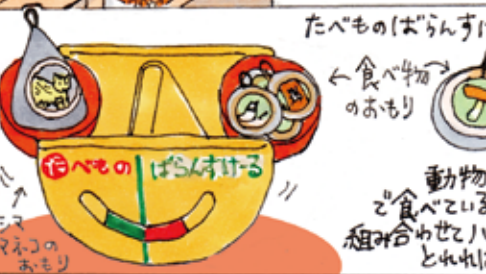
馬島さん作、トキリリやペレット
くちはして！とじょうを
つまみ上げる重作をします。

ペレット(えさ)の数々
引き出しに入れてます
おしゃれ〜



彫刻園には、武蔵野市名誉市民・
北村西望さんの「平和祈念像」の
原型があります。

そして、動物と人間が仲良く暮らす
には平和でなくては！
昨年、11月24日を「武蔵野市平和の日」
とする「武蔵野市平和の日条例」が制定
されました。



たべものばらんすけーる
「食ベ物」
のあもり
動物が野生
で食べているものを
組み合わせるとは正解

